

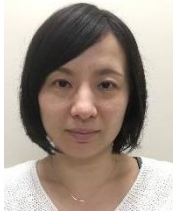
実社会対応プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題: 「人口減少社会における多様な文化の共生をめざすコミュニティの再構築」
- ◆研究テーマ: 「実践と政策のダイナミクスによる多文化共生:大阪型在日外国人参加モデルと政策提言」

研究期間: H30.10~2021.9
委託費総額12,644千円

<研究代表者>

高谷幸: 大阪大学大学院人間科学研究科 / 准教授



<専門分野>
社会学・移民研究
<Webページ>

<https://researchmap.jp/7000000113>

<研究目的・概要>

・在日外国人の増加と共生政策の不在



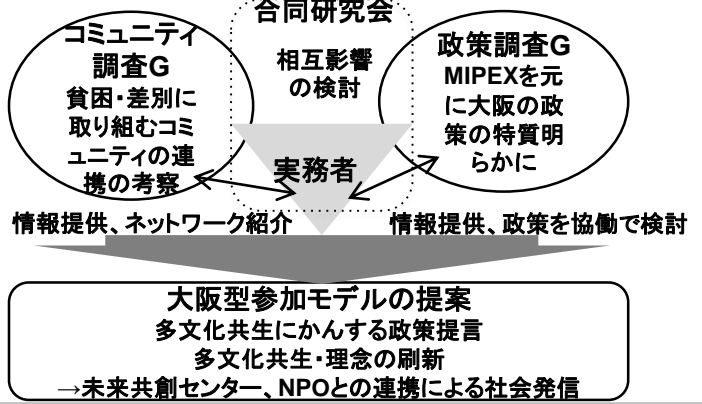
マイノリティの参加を促すコミュニティ実践と大阪のマイノリティ政策の検討を通じ、大阪型参加モデルを示す。

- ・マイノリティ参加を促す大阪のコミュニティ実践を明らかにする。
- ・大阪のマイノリティ政策および実践と政策のダイナミクス(相互影響)を明らかにする。
- ・これらを大阪型参加モデルとして示すとともに、政策提言を行う。



未来共創センターやNPOとの連携により、全国レベルでの実践につなげる。

<研究計画の特徴>



<目標とする研究成果>

(1) 大阪の多文化共生政策の特徴を明らかにする。

マイノリティの貧困と差別に取り組んできた大阪の実践と政策とその相互影響の検討を通して、大阪の政策の特徴を明らかにする。

(2) 在日外国人の参加モデルと政策提言を行う。

大阪の実践および政策の検討を元にしたモデルと政策提言の発信により、既存の「多文化共生」に反貧困・反差別という視点を加える。

<将来展望>

NPOとの連携により、大阪モデルの全国展開や法制度・政策の変化につなげる。